

令和4年8月31日（水）

米陸軍が大型輸送ヘリコプター「CH-47」全機を飛行停止した
ことに関し、自衛隊のCH-47に係る防衛省の考え方について

1. 報道によれば、米陸軍は、8月30日に、米陸軍輸送ヘリコプター「CH-47」の複数の機体でエンジンから出火する事故があったことを受け、米陸軍が保有するCH-47全機の飛行を停止している旨を公表したものと承知しています。
2. 防衛省・自衛隊では、陸上自衛隊及び航空自衛隊が輸送ヘリコプター「CH-47」を保有しています。

（参考）CH-47保有機数（本年7月末現在）

陸上自衛隊：48機

航空自衛隊：15機

3. 本件について、自衛隊のCH-47の製造企業である川崎重工業にも確認したところ、米陸軍で不具合を起こした部品を自衛隊機では使用しておらず、同様の問題は自衛隊機では起きないことを確認しています。
4. 自衛隊では、部隊による飛行前、飛行後の点検及び一定時間毎の点検や企業による定期整備をしっかりと行っており、飛行の安全に関わる問題が確認されていないことから、引き続き、飛行の安全に万全を期した上で、飛行を継続しているところです。